

BB通信

5・6月 vol.32



×



初夏を思わせる季節になりました。新入部員歓迎会を終えた1年生は早速さわやか大会を迎えました。ここでの結果に一喜一憂せず、まずは野球だけでなくいろんな事にチャレンジしていきましょう。2年生、スプリングリーグも終わりとなりました。リーグ戦最初の頃に比べると選手たちの表情が変化したように感じます。またこれからも積極的にチャレンジしていきましょう。3年生は中学時点での集大成の大会が近づいています。これまで準備したことを出し尽くせるように準備、実践と1日1日を大切に過ごしていきましょう。ワクワクもしてドキドキもしていると思います。そのような気持ちも選手たちと共有してチーム一丸となり、試合に臨んでいきたいと思ひます。

『まずは気づくことの大切さ』

コーチ 阪長 友仁

6月に入り、少しずつ気温も上がってきています。これから雨の日も多くなるかなと思ひますが、野球は試合の多いシーズンに入り、試合数も多くなっています。

試合が続くと、ついついプレーのこと、チームのこと、成績のことに目が行きがちですが、今一度、野球以外のことも含めて【気づき】の大切さをチーム全体で見直していければと思ひます。

自分自身のことで恐縮ですが、自身が小学6年生の時に担任の先生に言われた一言が人生において常に心に残っています。

ある日、ゴミが教室に落ちたままになっていることを先生が珍しく厳しい剣幕で怒っていました。『なぜ、教室にゴミが落ちたままになっているんだ！』という、先生の問いに対して我々は答えられずモジモジ...

『では、聞き方を変える！ゴミがあることに気づいていたけど拾わなかった人、まず手をあげなさい。』

『次に、ゴミがあることに気づいていなかった人、手をあげなさい。』

自身がどちらに手を挙げたかは記憶にありませんが、大半は気づいていたのにわざと拾わなかったことは怒られると思ひ、ゴミに気づいていなかったという方に手を挙げました。

しかし、その後の先生の言葉は我々の考えとは真逆でした。『気づいていたけど拾わなかった人は、次は拾えるかもしれない(ゴミがあれば拾おうと思えば拾える)。でも、気づかない人はずっと気づかないまま。』

もちろん、ゴミに気づいて拾えることが1番。でも、気づかなかった子より、気づいて拾えなかった子の方が次は拾える可能性がある...

その後、阪長少年は立派に気づきのある大人になっているかどうかは『？』がたくさん付きますが、ビッグボーイズの選手たちとも、この『気づき』の大切さを今一度見直していきたいと感じています。

もちろん、野球のプレーの中でも『気づき』は重要だと思ひます。相手を読む、試合の中でチャンスをつかむ、チームの中での自身の役割を果たす。しかし、その気づきは野球の中だけで見つけることはきっとできないと思ひます。日常の中での気づきが野球にもつながる。多くの気づきを与えられる指導が自分自身もできればと思ひます。

「野球を楽しむ」

コーチ 土井 大輔

1年生も入部してきて早2ヶ月が経とうとしております。

1年生は初めての公式戦になる「さわやか大会」が行われました。選手は試合が余程楽しかったのか、「どうやった？」と聞くと嬉しそうに、また悔しそうに試合について話をしてくれました。良いことも悪いこともあったと思いますが、全力でプレーしてくれ、また試合を楽しんでくれたと思います。

「野球」はたくさんの楽しみがあると私は思います。「ヒットを打った」や「良いピッチングが出来た」なども楽しみの1つですが、もっと野球の根本になる事に興味を持つのも楽しみの1つだと思います。野球のプレーで「基本」と言われるプレーが多くあります。例えば、「代打は初球を打て」や「2塁ランナーは自分の左側のゴロはスタート」などたくさんの基本のプレーがあります。何故それが基本のプレーなのか考えた事はありますか？

そのような事に興味を持つのも1つの楽しみだと思います。私は現役の時キャッチャーをしていました。配球に正解はないと言いますが、基本のプレーはたくさんあります。その基本のプレー通りいくのか、また基本のプレー通りにいかないのか・・・

基本があるから応用があるとよく言われていました。基本のプレーを知っているから裏をかくことが出来る(基本のプレーをしない)のだと思います。

そういう事に興味を持って調べたりすると、また野球というスポーツをより楽しめるようになるのではないのでしょうか。

「堺ビッグボーイズでの活動があったから今でも野球が出来ています！！」

28期生 辻上 流生

私は大学3年生の今も野球を続けています。小学1年生から始めた野球を10年以上プレーできている理由はたくさんありますが、その理由の1つに堺ビッグボーイズでの3年間の野球指導が大きく関係していると思います。成長期の中学生時代に堺ビッグボーイズのような指導方法のチームに出会えて本当に良かったと思っています。野球だけに限らず様々なスポーツをする事で沢山の運動神経が養われ、長すぎない練習時間で終わることにより次の日の練習も全力で楽しむことができました。また自分で考えて好きなことや、やりたいことができる「自主練習」を有効に使うことにより自ら考える力が身につきました。野球のことだけに限らず生活面でも、自立するための力が自然につく雰囲気の中で生活することができました。両親への感謝の気持ちや、素晴らしい環境で野球ができていることへのありがたみに気づくことができ、のびのびと野球に励むことができました。私がよく聞くのが、中学生時代に肘や肩を壊したと言う選手です。成長期に怪我をしてしまうと大好きな野球を長く続けることができません。大好きな野球を今、こーやって長く続けられてるのも堺ビッグボーイズでの3年間があるからだと思います。

*28期生の辻上君ですが中学生の頃は4番でファーストとしてチームを引っ張ってくれていました。辻上君と出会ったのは私がまだ高校生だった頃でした。中学生の時から体も大きくいつも笑顔で練習している印象でした。誰に対しても優しくそれは高校、大学になっても変わっていません。現在は佛教大学で野球を頑張ってくれています。佛教大学でもクリーンナップを打っている様です。これからも怪我に気をつけて頑張ってもらいたいです。